

ご使用前に必ずお読みください。

⚠️ご使用上の注意: けがなどを防ぎ、安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ① 本製品の組み立ては取扱説明書の説明に従い、保護者の方が正しく組み立ててください。
- ② 大けがや死亡事故を防ぐため、組立部品・付属品はしっかり取り付けてください。
- ③ 必ず保護者のもとでご使用いただき、常にお子様から目を離さないでください。
- ④ 前上枠のロックが確実にできるかをご確認ください。
- ⑤ 部品が破損した場合やすべての部品が揃っていない場合は、本製品のご使用を中止してください。
- ⑥ 本製品には小さな部品が含まれています。お子さまの手の届かないところに保管してください。
- ⑦ 本製品を火気や暖房器具の近くでご使用にならないでください。
- ⑧ キャスターを取り付けた場合は、必ずロックしてご使用ください。

部品明細 ※組み立てる前に全ての部品が揃っているかご確認ください。
※プラスドライバーをご準備ください。

【組立部品】

● 床板受けピン
×4本



● 連結ボルト
×8本



● キャスター
×4個



【付属品】

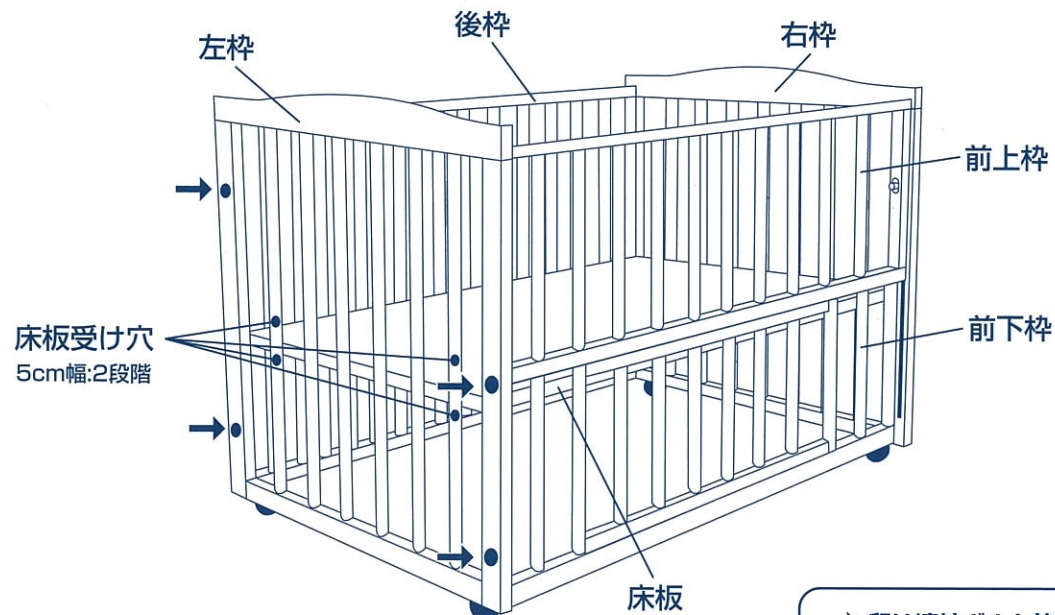
● シーツ
×1枚



● 固定ベルト
×1本



各部の名称

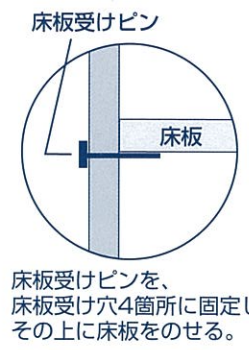
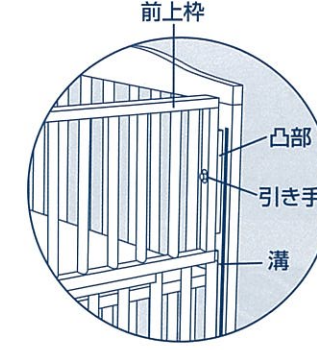
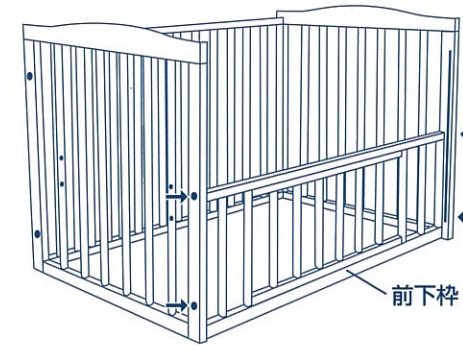
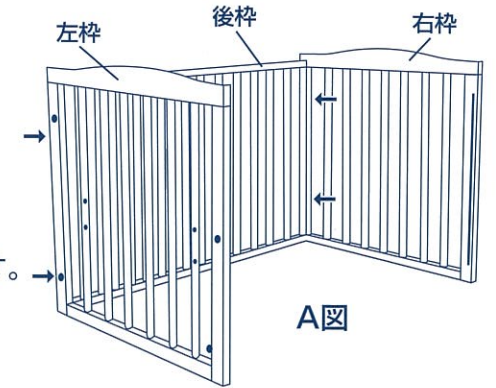


※サークルとしてご使用になる場合は、必ず床板受けピンを抜き、床板とキャスターを外してください。

→印は連結ボルト使用位置
(左右計8カ所)

組立手順

- ① 右枠と後枠を連結ボルトで2箇所を仮止めします。
(A図参照) (仮止め:完全に締め付けない状態)
- ② 左枠と後枠を連結ボルトで2箇所を仮止めします。
(A図参照)
- ③ 前下枠と左右両枠を連結ボルトで4箇所仮止めします。
(B図参照)
- ④ 前上枠の引き手及び凸部を左右両枠の溝に差し込みます。
(C図参照)
- ⑤ 床板受けピンを左枠と右枠の床板受け穴に差し込んで固定し、床板を床板受けピンの上に乗せる。
(D図参照)

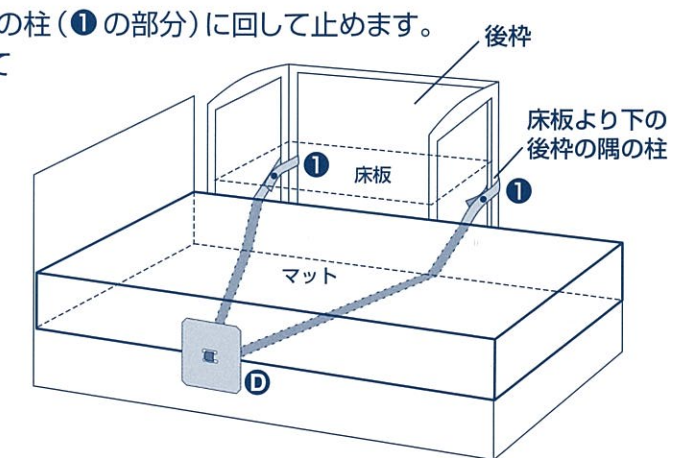
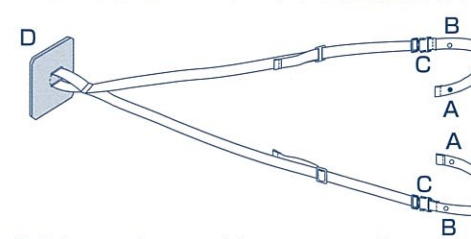


- ⑥ ①②③の仮止めの箇所を確実に締め付けてください。
- ⑦ 前上枠がスムーズにスライドすることを確認の後、ご使用ください。
- ⑧ キャスターの取付け:左右枠下部のキャスター受け穴(4カ所)に強く押し込んでください。
// 取外し:キャスターを強く引っ張ると抜けます。

固定ベルトの取付け方

※ママのベッドとベビーベッドをしっかりとベルトで固定してご使用ください。

- ① ベルトの先を床板より下のベッド後枠の隅の柱(①の部分)に回して止めます。
- ② ベルトをママのベッドのマットの下を通してDを反対側に固定します。
- ③ この時Cの部分でベルトの長さを調節し、しっかりとママのベッドと固定させます。



【床板の高さ調節のしかた】

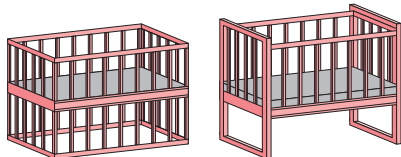
- 床板受け穴の2段階と、キャスターの取付け/取外しにより3段階の高さ調節が可能です。
キャスター使用時: 35cm/40cm キャスター不使用時: 30cm/35cm
- ご使用の際はママのベッドの高さに合わせて調整してください。

PS・SGマークつきベビーベッドの特長

★SGマークが表示されているベビーベッドは、次のような特長を備えています。

① SGマークが表示されているベビーベッドは、主として、家庭において、出生後24月以内の乳幼児の睡眠又は保育に使用することを目的として設計されたものです。ただし、揺動型のものを含まれていません。またマットレス、ふとん等は対象外となっています。

② SGマークが表示されているベビーベッドの種類は、大別すると次の二つに分けられます。

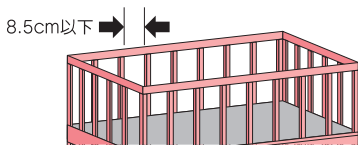


サークル兼用のもの ベッド専用のもの

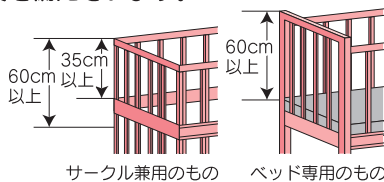
③ ところ板は、使用時に容易にはずれないようにしっかりした構造になっています。

④ サークル兼用のもの以外は、ところ板の上面より30cmの高さまでの範囲には、横さん等幼児が足をかけるような構造物はいっさいついていません。

⑤ 組子(さん)間や組子と支柱間の間隔は、乳幼児の頭が入らないような構造(8.5cm以下)になっています。

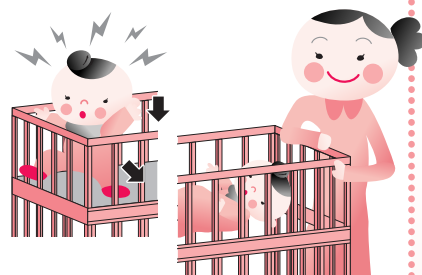


⑥ ところ板の上面から上さんまでの高さは、60cm(サークル兼用のものは35cm)以上になっています。



サークル兼用のもの ベッド専用のもの

⑦ ところ板、前枠及び後枠、組子等は、所定の強度を保持しており、乳幼児がベッドの上であばれたり、保護者が枠により掛っても、十分耐えられるようになっていますが、保護者はところ板に腰を掛けないで下さい。



⑧ 合成樹脂製品、合成樹脂塗料、繊維製品等を使用しているものについては、食品衛生法や有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律等による規制基準を参考として、その安全性が確認されています。

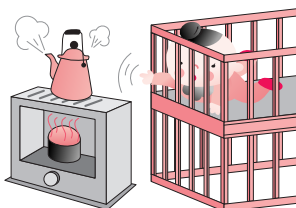
使用上のご注意

★誤った使い方をして思わぬ事故を起した例もありますので、正しい使い方にご注意して、赤ちゃんの安全をお守り下さい。

● 使用して良い乳幼児の年齢は標準として**生後24月以内**です。

● 敷ふとん及び、**マット等**は枠との間に**すき間**を生じないもので、適当な固さを有するものを使用して下さい。

● ベッドの設置場所は水平、平たんで近くにストーブなどの危険物や又手足の届く位置にタンス、イス等の足掛りになるようなものが無い安全な場所を選んで設置して下さい。

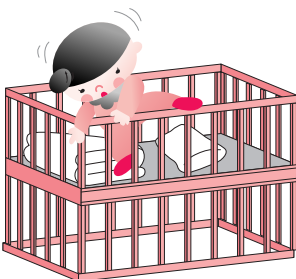


● 止め金具及びネジ類は確実かどうかときどき点検し、ゆるんでいる場合はしっかり締め直して下さい。**代替品の金具は使用しないで下さい。**

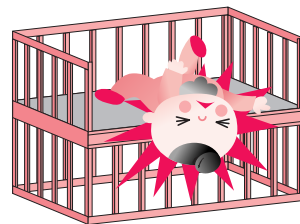
● ところ板の高さが調整式のベッドは、乳幼児がつかまり立ちできるようになった場合は、這い上る危険がありますのでところ板はところ板上面から上さん上面までの高さが**60cm以上**になるように調整して下さい。調整後の高さが60cm未満のサークル兼用ベッドの場合は、ところ板をはずしてご使用下さい。

● 1歳を超えますと幼児の動きも活発になり、枠を**乗り越える**場合がありますので十分ご注意下さい。

● ベッドの内側には、踏み台のかわりになる様な箱類や、折りたんで高くなったフトン、オムツ、衣料等は置かないようにして下さい。



● **ベッドから保護者が離れるとき**は開閉式又はスライド式の扉のさくは必ず**上段**の位置に固定して下さい。



● キャスターにストッパーが付いているものは、使用時に必ずストッパーを掛けて下さい。

● ベッドには**ひも類等**の不必要なものは危険ですから取り付けないようにして下さい。

● 枠には腰掛けたり、ふら下がったり、揺さぶったりするようなことはしないで下さい。

● **ベッドは破損、故障等が生じた状態**では使用しないで下さい。

● 同時に**2人以上**で使用しないで下さい。

● 乳幼児の頭巾がさくのため**たてさん**の間隔及び**たてさん**と支柱との間隔より小さい場合は、十分注意して使用して下さい。

● 開閉式又はスライド式の扉を操作する際に、手足等を**はさむ**危険がありますから十分注意してご使用頂くと同時に、保護者以外は操作しないで下さい。

